

▼別ショットの写真



今月の表紙は、7月28日に里保育園の夏あそび会で行われた、流しそうめんです。園児たちは、流れてくるそうめんが待ちきれない様子で、水が流れている竹製の樋の先をしつと見つめて、箸をかまえていました。

今月の表紙

みんなの 広場

皆さんからのサークル紹介・みんなの作品展への応募をお待ちしています。
〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課情報グループ
☎62-1111(内線334) FAX63-5139
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

こうたの文化財

* 諸説あり

大草・久保田地区 その①

浄土寺

(所在地：大草字山寺3)

浄土寺は弘仁年間(810～823年)に僧南城が創立した天台宗の古刹です。大草では「山寺七坊」といわれ南城坊、西の坊、元坊、道正坊、長信坊、向坊、赤井坊があったといわれていますが、このうち、浄土寺(南城坊)、正楽寺(西の坊)が現存しています。本尊は薬師如来坐像で木造十二神将立像とともに町の指定文化財となっています。



正楽寺

(所在地：大草字寺西6)

平安時代の初め頃から比叡山や高野山などを中心とした山岳信仰が日本各地に広まる中で、三河国でも天台宗の寺院が岩津の真福寺や常盤の瀧山寺などを筆頭に建立され地方信仰の中核として栄えました。大草にも僧坊*が建立され、その一つが西の坊と呼ばれた正楽寺です。その後、貞永元年(1232年)ごろに、僧祐海が親鸞聖人の教えに帰依して浄土真宗に改宗しました。また正楽寺は岡崎城を作った西郷氏の菩提寺でもありました。それから、大草城もこの地に築造されたといわれています。正楽寺には西郷頼頼の像と大草松平氏の祖、松平光重の像が伝わっています。*僧坊…僧や尼僧が生活する宿舍



みんなの作品展!

「しだれ桜まつり作品コンクール」(俳句)からのセレクトです

花愛でて老いて秘密のなき夫婦

稲吉柏葉さん

花守の一枝直す抜れかな

清水房子さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、企画政策課情報グループまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで)。

今日の記念日

9月20日は「ベットの日」

毎日の健康管理に欠かせないのが睡眠。良い睡眠は「Good Sleep(グッド・スリープ)」。ベッドで「グッ(9)」「スリー(3)」とお休みして休(9)眠(3)とし、「良い睡眠には良いベッド」が欠かせないことをもっと知ってもらおうと「ベッドの日」が制定されました。人生の3分の1は眠りの時間。快適なベッド生活は、健康生活の第一歩といえます。

健康的で快適な睡眠を求めて、ベッド利用者は年々増えています。所帯別では6割がベッドを使用しています。日本の寝室も様変わりし、また高齢社会の進展で、ベッドは寝室生活の主役となりつつあります。

ベッドにはさまざまな効果があります。例えば、スプリングマットレスの内部は空洞になっていますが、寝ることによってマットレスが押されて中の湿った空気が外に押し出されるとともに、マットレスから降りると乾いた空気が吸い込まれることで、身体からの湿気を外に排出し、清潔で乾いた状態を保ちます。また、ベッドは高いところで使用するので、ホコリやゴミなどを吸収することが少ないと言えます。

ベッドを購入する際は、信用あるメーカーの商品を選ぶことが基本です。実際に寝てみるなど納得するまで確かめましょう。

* 参考資料：全日本ベッド工業会 <http://www.zennihon-bed.jp/>



青春 トークリレー
第294走者

いのうえ さえこ
井上 紗永子 さん

里区在住 20歳 職業 学生
血液型 A型 身長 145cm
好きなタイプ 優しく笑顔が
すてきな人
好きな芸能人 やまざき けん と 山崎 賢人

私は今、将来音楽の教師になるために大学で教育学を学んでいます。10月から3週間の教育実習が始まります。不安もありますが、現場の先生方や子どもたちから多くのことを学びたいです。

また、部活動では管弦楽団でバイオリンを演奏しています。みんなで音を合わせることは大変ですが、曲が完成し、演奏会で拍手喝采を受けた時はとても感動しました。

幸田町は音楽が盛んな町です。私が音楽を好きになったのは、小さいころから演奏会やミュージカルなどを楽しむ機会が身近にあったからだと思います。これからも幸田町が音楽で笑顔あふれる町であってほしいと思います。

やはり何かに熱中している人はかっこよく見えますね！私も好きなこと、そして仕事にも一生懸命励んでいきたいです。(H)



掲載写真を印刷してプレゼント。企画政策課までご連絡ください。本人のご家族にお渡しできます。



異年齢保育の幸田保育園ですが、プールは年齢差が大きいので、7月は年齢別で入りました。大好きな遊びが変身遊びで、「見えた！見えた！」のかけ声がかかると、「何に変身するのかな？」と、ワクワクドキドキの子どもたち。「ワニー」や「イル

る格好に変身しています。中には、「ヒトデー」なんていうものもありますが、子どもらしい発想の変身に驚かされます。最初は水が苦手だった子どもも、大好きな友達との楽しい遊びを経験していく中



力！」の言葉を聞くと、思い思いに自分のイメージす



で、プールが大好きになっていきました。8月の終わりからは、通常の縦割りクラスでプールに入りました。クラスの中の、年長の泳ぎをみて小さい子たちは「かっこいいな」と憧れ、自分もかっこいい年長になりたいと思う幸田っ子。真っ黒に日焼けした笑顔が勲章です。

ちよと 編集者のひびく

こんにちは！編集者のHです。最近をよく1人でバッティングセンターへ行くのですが、空振りばかりでいつもモヤモヤしながら帰っています…。

7月は夏期大会が多く開催されました。中でも23日、30日に行われた子ども会ソフトボール大会は印象的でした。子どもたちの白球を追う姿は甲子園球児にも負けていません。打ったら全力で走る、とてもかっこよかったです。外野の頭を越える当たりを放つとホームがけてまっしぐら。私もあんな風に打ちたいと思いつつ見えていました。また今度打ち方をこっそり教えてもらいたいほどです。そして、一番見とれてしまったのが、マウンドで投げるピッチャーです。1人で投げ続ける姿に感動しました。また、投げ方にも関わらず、難しい投げ方を感じました。どうやって投げているのか、写真を撮りながらやっと理解できました。腕を一生懸命振る姿に力強さを感じました。将来の甲子園球児もここから誕生する予感がします。